

北海道・東北支部

今年度から支部長および事務局を新潟県保健環境科学研究所が引き受けることになりました。

3月11日の東日本大震災により宮城県、福島県など被災した機関や震災関連業務に職員を派遣した機関があります。このような状況の中、今年度の初めに、今年度の支部活動についてアンケート調査を行い、支部総会は福島県が開催を予定していたことから書面による開催、その他の活動については例年どおり実施することとしました。

現在までの活動状況および今後の予定を報告します。

1. 平成22年度北海道・東北支部酸性雨広域大気汚染調査研究専門部会

(担当機関：秋田県健康環境センター)

- (1) 期日：平成23年3月2日(水)
- (2) 場所：秋田県健康環境センター
- (3) 参加者：13機関 17名
- (4) 議 事
- ① 全国環境研協議会酸性雨広域大気汚染調査研究部会の活動について
- ② 全国調査への支部機関の参加状況について
- ③ 平成23年度以降の部会活動について
- ④ その他

2. 環境測定分析統一精度管理ブロック会議

(担当機関：新潟県保健環境科学研究所)

- (1) 期日：平成23年7月13日(水)
- (2) 場所：新潟県自治会館別館
- (3) 参加：14機関 29名(検討委員、環境省、(財)日本環境衛生センターを含む)
- (4) 議 事

- ① 環境測定分析精度管理調査について
(環境省 高野 厚 氏)

- ② 平成22年環境測定分析統一精度管理調査結果について
(財)日本環境衛生センター 西尾 高好 氏)

- ③ 環境測定分析における留意点および精度管理について
(摂南大学 青笹口 治 氏, (社)国際環境研究協会 植弘 崇嗣 氏)

- ④ デイスカッション
検討委員等を助言者として、調査結果等について質疑応答を行いました。

3. 平成23年度全国環境研協議会北海道・東北支部総会(予定)

(担当機関：福島県環境センター)

- (1) 期日：平成23年8月上旬
- (2) 書面による開催

4. 第36回全国環境研協議会北海道・東北支部研究連絡会議(予定)

(担当機関：岩手県環境保健研究センター)

- (1) 期日：平成23年10月13日(木)～14日(金)
- (2) 場所：岩手県環境保健研究センター

5. 平成23年度北海道・東北支部酸性雨広域大気汚染調査研究専門部会(予定)

(担当機関：青森県環境保健センター)

- (1) 期日：平成24年3月
- (2) 場所：青森市内

九州支部

全国環境研協議会九州支部の活動について、支部総会および平成23年度環境測定分析統一精度管理九州ブロック会議の開催を報告します。

1. 第38回全国環境研協議会九州支部総会

宮崎県衛生環境研究所が開催担当機関として開催し、12機関、27名の出席がありました。会議概要は、次のとおりです。

- ・ 期日：平成23年7月15日(金)
- ・ 場所：宮崎市「ニューウェルシティ宮崎」

(1) 支部長表彰

試験研究業務の推進に多年にわたって功績のあった次の2名の表彰を行いました。

黒川 陽一 氏(福岡県保健環境研究所)

木下 誠 氏(福岡市保健環境研究所)

(2) 議 事

- ① 平成22年度事業報告および決算報告について
- ② 平成23年度事業計画および予算(案)について
- ③ 各県市提出議題、照会および報告事項について

- ・ 福島原子力発電所事故に係る放射能風評被害対策について
- ・ 福島原発事故に伴うモニタリング体制の強

化について

- ・ 九州地方知事会政策連合項目「酸性雨観測体制の整備の連携」に係る酸性雨共同調査研究について—第Ⅱ期調査結果の報告—

2. 平成23年度環境測定分析統一精度管理九州ブロック会議の開催について

熊本市環境総合研究所が開催担当機関として開催し、11機関、22名の出席がありました。会議概要は、次のとおりです。

- ・ 期日：平成23年7月28日(木)
- ・ 場所：熊本市・崇城大学市民ホール(熊本市民会館)

(1) 議 事

- ① 環境測定分析精度管理調査について
- ② 平成22年度環境測定分析統一精度管理調査結果について

(2) 講 演

「環境測定分析における留意点及び精度管理について」と題し、国立医薬品食品衛生研究所生活衛生化学部長西村哲治氏、環境省環境調査研究所講師(元主任教官)牧野和夫氏にご講演いただきました。

(3) 質 疑 応 答

調査結果等について質疑応答を行いました。